

<20XX

トヨタ自動車「MIRAI」発表
(2014年11月18日)「リニア新幹線」走行試験
(JR東海=2015年1月23日)小惑星「イトカワ」に向かって飛行する
「はやぶさ」(イメージ=2010年)
=池下章裕氏提供福島第一原子力発電所4号機注水槽
からの放水
(2011年3月22日=東京電力提供)

3Dプリンター(2013年)

2010-

超・円高から日本再興へ

2010

(平成22年)

- ① 15年半ぶりの円高
(6年半ぶりの為替介入にもかかわらず、一時1ドル=80円24銭と15年半ぶりの高値更新)
- ② 「はやぶさ」帰還—イトカワの微粒子発見
(小惑星探査機、再三のトラブル乗り越え)
- ③ 日本人2人がノーベル賞の快挙
(鈴木章名誉教授と根岸英一特別教授、化学賞を受賞)
- ④ エコカー補助金とエコポイントで市場沸騰
(駆け込みで需要増。半面、反動減も)
- ⑤ レアース確保、あの手この手
(中国の輸出割当量の大幅削減で需給がひっ迫。使用量減らす技術や代替材料の開発進む)
- ⑥ トヨタ、大規模リコールもV字回復
(2期ぶりに営業黒字に転換。増販効果と原価改善などで)
- ⑦ 米倉経団連が始動
(新たな「財界総理」に住友化学の米倉弘昌会長、財閥系トップの就任は初めて)
- ⑧ スマートフォンが大ヒット
～電子書籍元年
(新商品相次ぐ)
- ⑨ JAL破たん、稻盛氏に再生託す
(事業会社の倒産で戦後最大規模。稻盛和夫氏を招き再建)
- ⑩ 第一生命保険が上場、株主数でNTT抜く
(上場時の株主137万人)

【番外編】

- ▷中小憲章制定
▷スマートグリッド元年
▷3Dテレビ登場
▷官民挙げインフラ輸出で成果
▷羽田空港の国際化スタート

2011

(平成23年)

- ① 東日本大震災①
～福島第一原発事故
(原子力の「安全神話」が崩壊。定期点検で停止した原発の再稼働に「待った」。政府はエネルギー基本計画の見直しに着手)
- ① 東日本大震災②
～電力危機、首都圏は大混乱

2010-

経済の好循環—これから真価

2010年代初頭、日本経済は格別に好調だったわけではない。ただ、リーマン・ショック後の不良債権処理を抱えた欧米に比べれば、まだ健全に見えた。投機資金が円に集まり、10年(平成22年)「15年半ぶりの円高」が産業界を苦しめた。11年には一時1ドル=75円台の「超円高」を記録した。

その11年は、二つの大きなエポックで長く記憶されるだろう。ひとつは「東日本大震災」。皮肉にもサブ

ライチェーンの崩壊が、日本の部品産業の力を世界に再認識させた。もうひとつは「GDP、中国に抜かれ3位」。以前から予想されていたことだが、国民も産業界も、冷静に事実を受け止めた。

転機は12年「衆院選、自民圧勝」だった。日本再興を訴えた安倍晋三首相は経済政策を一変。13年「アベノミクス効果」に産業界は息を吹き返した。同年「2020年東京五輪が決定」、14年「ノーベル物理学賞にL

D」など明るいニュースも続いた。もちろん、日本の置かれた状況が大きく変わったわけではない。国の財政赤字は世界最悪の水準。同年「消費税8%に、10%は1年半延期」など不透明なマイナス要因もある。

しかし今、企業は好業績に力を得て、同年「国内外で大型M&A相次ぐ」など積極策に出ている。経済の好循環を実現し、日本再興を果たす原動力となるのは産業界である。真価を問われるのは、これからだ。

2014

(平成26年)

- ① ノーベル物理学賞にLED—赤崎・天野・中村氏

(産学官連携の“成功モデル”に)

- ② 進む円安・株高

(7年4カ月ぶりの円安株高水準)

- ③ 国内外で大型M&A相次ぐ

(グローバル市場における業容の拡大急ぐ)

- ④ 消費税8%に、10%は1年半延期

(財政健全化の一里塚)

- ⑤ STAP細胞論文問題

(発表後に過誤が発覚し、掲載論文は撤回。検証でもSTAP細胞を再現できず)

- ⑥ 水素元年

(トヨタ自動車が市販燃料電池車「MIRAI」を発売。関連産業の動きも加速)

- ⑦ 羽ばたく国産航空機

(国産旅客機「MRJ」が完成披露)

- ⑧ 原発再稼働へ、川内原発に地元同意

(原子力規制委員会が最初の「合格証」を出したのを受け)

- ⑨ 高速鉄道網新時代の幕開け

(東海道新幹線が開業50周年を迎えたその年、リニア中央新幹線の工事が始まる)

- ⑩ 約3年ぶりに日中首脳会談

(関係改善に向けた大きな一步)

【特別編】

- ▷第13代経団連会長に東レ榎原氏

【番外編】

- ▷富岡製糸場が世界文化遺産に

- ▷動き出す地銀再編

- ▷エボラ水際対策、国内はデング熱

【特別編】

- ▷新日鉄と住金が合併へ

【番外編】

- ▷富岡製糸場が世界文化遺産に

- ▷動き出す地銀再編

- ▷エボラ水際対策、国内はデング熱

【特別編】

- ▷新日鉄と住金が合併へ

【番外編】

- ▷新日鉄と住金が合併へ

【特別編】